令和元年度碧南ふれあい作業所指定管理者審査委員会次第

日時 令和元年7月29日(月)

午後1時30分から午後3時30分まで

場所 ふれあい作業所

1 あいさつ

2 議題

(1) 平成30年度事業報告及び収支決算について

(2) 令和元年度事業計画及び収支予算について

(3) その他

平成30年度 碧南ふれあい作業所 事業報告書

1. 施設概要

施設種別	生活介護事業（通所）	
事業所番号	2313200020	
所在地	碧南市中山町1丁目16番地1	
事業開始日	平成8年7月1日	
障がい種別	特定なし	
定員	60名	
開所日/時間	月曜日～金曜日	9:00～16:00

2. 登録市町村

碧南市

3. 契約者の状況(平成31年3月31日現在)

総契約者数	69名	碧南市=69名
-------	-----	---------

平成22年4月から平成31年3月までの契約者の推移

常時利用者	平成22年 4月1日時 点の契約者	平成22年 4月から平 成27年3 月までの新 規契約者	同退所者及 び期限切れ 契約解除者	平成30年 3月までの 新規契約者	平成31年 3月31日 までの退所 者及び期限 切れ契約解 除者	平成31年 3月31日 現在
	63名	19名	12名	1名	2名	69名

新規契約者時期

平成22年度 7月=1名、8月=1名、9月=1名、10月=1名、
2月=1名、3月=6名

平成23年度 3月=3名

平成24年度 10月=1名、3月=1名

平成25年度 7月=1名

平成27年度 3月=2名

平成30年度 4月=1名

退所者時期

平成24年度 4月＝9名、平成25年度 3月＝2名、
 平成26年度 11月＝1名、平成28年度 3月＝1名、
 平成30年度 12月＝1名

4. 職員数（平成31年3月現在）

正職＝11名、非常勤＝18名 合計29名

5. 月間利用実績 生活介護（定員60名） 職員体制（5：1）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H29年度
開所日数(日)	20	21	21	21	20	18	22	21	20	19	19	21	243	245
利用者数(人)	1251	1323	1308	1347	1256	1094	1436	1347	1259	1106	1165	1318	15210	15257
1日平均(人)	62.6	63.0	62.2	64.1	62.8	60.7	65.0	64.0	62.9	58.2	61.3	62.7	62.6	62.2
利用率(%)	104	105	104	107	105	101	109	107	105	97	102	105	104	104
前年比(%)	103	102	105	101	105	106	105	105	105	105	102	105	104	

月間利用実績 日中一時支援 成人プログラム（定員70名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H29年度
開所日数(日)	1	1	1	1	1	1	1	1	-	1	1	1	11	11
利用者数(人)	62	56	47	49	55	45	52	38	-	45	61	51	561	584
利用率(%)	88	80	67	70	79	64	74	54	-	64	87	73	73	76

月間利用実績 日中一時支援 児童プログラム（定員10名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	H29年度
開所日数(日)	8	8	7	12	20	7	8	6	7	8	8	10	109	85
利用者数(人)	13	16	13	24	42	12	14	12	13	14	14	13	200	149

活動内容

【自主製品部門】

（紙すき）

常連のお客様からの注文、納品先からの注文共にたくさん注文を頂いて忙しい。

（名 刺）

1年を通して注文があり忙しかった。金額や納品方法・種類について改めて検討する必要がある。

(その他)

- ・ Aさん：7月に母が亡くなり、家であまり家族に手伝って貰えていない。急激な筋力の衰えが見られる。
- ・ Bさん：9月情緒不安定のため入院。10月から入院しながら少しずつ作業所へ通えるようになった。10月21日退院された。3月黒目が上へ行ってしまうことがあり病院へ。薬の副作用だったためそれを押さえる薬を処方された。
- ・ Cさん：10月に重積発作が起き入院された。今後の発作時の対応について見直す必要がある。
- ・ Dさん：12月7日ホームでの様子がいつもと違ったため家族に連絡し受診。左足大腿骨骨折。1月末退院された。
- ・ Eさん：1月サチュレーションが下がり入院。軽い心不全と診断され、酸素ボンベを利用して生活することになった。2月5日に退院され、3月まで週3日来所されていた。3月で退所され、今後は老人系の施設に通われる予定。
- ・ Fさん：1月に胸の痛みで倒れ、心臓の血管が細いと診断された。サチュレーションも落ちていたが服薬し、現在は落ち着いている。
- ・ Gさん：1月24日に40度の熱があると連絡があり、その後誤嚥性肺炎で入院された。2月12日に退院されたが食事形態がおかゆや刻み食に変更した。今後どのようにしていくかは本人の様子を見ながら家族と相談していく。
- ・ Hさん：3月15日から左目角膜潰瘍のため藤田病院に入院された。自分で消毒や点眼ができるようになったため4月3日に退院された。

【下請け部門】

(ロート)

量の変動があり、2週間程納品されない時期もあった。量が多い時は1日2箱納品されることが続く時もある。

(軍手)

量が多い時、少ない時はあるが順調に納品できている。電動の圧縮する機械が入り、調整しながら使用している。

(その他)

- ・ Gさん：7月に蜂窩織炎になり自宅療養していた。毎年同じ時期に繰り返している。
- ・ 指の骨折をした方と足の骨折をした方がいたがどちらも固定などはせず湿布で対応した。

- ・10月から体調を崩し、入退院を繰り返していた方が12月25日に亡くなった。

【ぼかし部門】

4月から6月は旧作業場でボカシを作っていたが、雨水が漏れるため出来上がったボカシの半分は製品にならなかった。7月から新しい作業場で作業をしている。水漏れもなくカビが発生することはない。ボカシの貯蓄ができるようになったため仕込みの回数が3回から2回に減った。今後は梅雨の時期に気を付けながら作業を進めていく。

作業の効率が上がったことで今まで行ったことのなかったスタッフも体験に行くことができるようになってきた。今後は職員が2名行ける時は車椅子の方も参加できるように進めて行きたい。

【農園部門】

(各公園の花の植え替え)

こまめに草取りや補植を行い、綺麗に咲いている。

(花の販売)

花の販売は例年通り落ち着いている。

(花の育成状況)

パンジーやビオラは今までで1番よくできた。

(その他)

苗の値上げを検討してみるのはいかがでしょうか。(消費税が上がる、他店と格差があるため)

【療育部門】

1月に職員が産休に入り、職員が代わったが新しい職員にも慣れ特に大きな混乱もなくすごせている。

- ・Hさん：10月に前歯を全て自分で抜いてしまった。そのため食事を1口大に変更した。
- ・Iさん：1月24日から3月18日まで服薬調整のため三河病院へ入院された。

【厨房部門】

作業所とアルゴスタッフ3～4名で毎日食器・お茶の準備、調理、盛り付け、食器洗浄、掃除等を行っている。

ケガに十分注意し、包丁で切りやすいように職員が下準備し徐々に上手に作

業できるようになってきた。アルゴ職員と話し合いをし、共通支援を行えるようにしていく。

【屋内外活動】

(リズム体操)

ボランティアの方に来て頂き、希望者に音楽などを通して体を動かしてもらい体力作りを行っている。楽しんで参加される方が増えてきた。

(車いす体操)

ボランティアの方に来て頂き、車いすの方を中心に体を動かしたり、マッサージをしてリハビリを行った。全体の先生も来所され、みんなの姿勢なども見てくれた。

(創作活動)

季節にちなんだ行事を行うようにしている。バレンタインデー、ホワイトデーには、お菓子作りをしたり、お花見へ行ってみなさん楽しんでいた。ハロウィンの工作やお菓子作りも定着している。

(カウンセリング)

毎週木曜日に行っている。利用者の方の悩みや相談などを聞き、精神的な安定を図っている。先生と話せる事を楽しみにされている利用者が多くいた。

(マッサージ)

毎週火・木にマッサージの先生に来ていただき、希望者のみマッサージを行ってもらう。一人の利用者さんには、原則週一回のマッサージ。心身ともにリフレッシュしていた。

(音楽療法)

月に一回行う。普段あまり動かない利用者も、音楽に合わせて歌って踊って体を動かしている。参加される利用者は楽しみにしていた。

(高齢者プログラム)

平成31年1月から高齢の方を中心に体操やマッサージを行っている。

(理学療法)

平成30年12月から理学療法士の方が該当するスタッフ宅を訪問し、リハビリのプログラムを作成している。平成31年1月に作業所と契約し、作業所でのリハビリも開始された。

【生活面】

(スタッフ会議)

月1回、今後のイベントや作業所の事について、利用者からの意見などを聞いたり話し合ったりする場を設けている。意見を言える方が増えてきている。

6. その他碧南ふれあい作業所における活動

【全体行事】 新通所者歓迎式&お花見、新成人を祝う会、合同避難訓練

【事業所行事】 創作活動（わらびもち作り）
交通安全教室、創作活動（ホットケーキ作り）、
創作活動（団扇作り）、流しそうめん大会、
元気ッスへきなん、バーベキュー大会
創作活動（あいくるの作品展に出す花火の絵の作品作り）、
創作活動（どら焼き作り）、
日帰り旅行（セントレア）、避難訓練、宿泊会
創作活動（かぼちゃケーキ作り）、ふれあいまつり、
創作活動（入浴剤作り）、きらきらウォーク、
クリスマス会&忘年会、餅つき大会、大掃除、
創作活動（おしるこ作り）、
創作活動（バレンタインデーのお菓子作り）、
創作活動（ホワイトデーのお菓子を作ろう）

【健康面】 健康診断、歯科検診、人間ドック、インフルエンザ予防接種

【外部交流】 植木市出店、トヨタショッキフェスタ出店、大浜てらまちウォーク出店、新川公民館まつり出店、西端公民館祭り出店、日進公民館祭り出店、新川久沓線の清掃作業、元気ッス碧南出店、新川まちかどサロン出店、ふれあい支援センター実習受け入れ、安城特別支援学校実習生受け入れ、安城特別支援学校親子施設見学受け入れ、碧南高等学校初任者研修受け入れ、心身障がい児者を守る会のボランティアの受け入れ、高浜高校実習の受け入れ、慈恵福祉保育専門学校実習の受け入れ、碧南市立南中学校職場体験受け入れ

【日中一時支援 成人】 毎月第3土曜日に行い、碧南市在住の施設内外の方に利用して頂いている。スタッフが楽しめること、色々な体験ができるように企画を進めている。スタッフの意見等を取り入れるようにしている。

企画内容・・・4月マグカップ作り、5月バーベキュー、6月カラオケ、7月葡萄狩り、8月カレー作り、9月まんなか祭り&しゃぶし

やぶ食べ放題、10月パン作り（デンパーク）、
11月ふれあいフェスティバル、12月一、1月カラオケ、
2月たこ焼きパーティー、3月トヨタ博物館

【日中一時支援 児童】公園へ遊びに行ったり、作業所ですごしたりしている。
新規の方ではなくいつも同じ方が利用されている。
着替えが必要になることが多い方は他施設とも話し合い、毎
回着替え等を1セット持ってきてもらうことになった。

7. 平成30年度の特徴

利用者の重度化・高齢化の中で転倒による骨折や誤嚥性肺炎等による長期入院される方が多くみられた。そのため、高齢プログラムの試験的な導入や理学療法士とも連携しながら介護予防的な取り組みを行った。

建物の老朽化が進み、不具合が発生した際の交換部品がない設備も増えてきている。今年度はエレベーターのリニューアル工事を碧南市と協議の上行ったが、まだ大きな設備の入替工事が必要なため計画的に行いたい。

8. 事業計画に対する評価

①指定管理

碧南市へ事業計画・事業報告を行い、指定管理審査委員会の資料作成や委員会での説明を行った。委員会の評価としても現場の取り組みとしては頑張ってくれているとの話もあり、問題なく運営出来ていると考えている。

②研修・勉強会

新人研修や法人全体研修はもちろんであるが、事業所独自の勉強会を随時開催して職員スキルアップに努めた。正規職員だけでなく非常勤職員に対しても開催した。

③修繕・入替

碧南市との協定の中で今年度はエレベーターのリニューアル工事を行った。工事期間中はエレベーターが使用できなかったため、車椅子利用の方には1階で過ごしてもらうなど工夫をして対応した。

④非常食・防災用品

非常食の在庫を確認まではしたが、発注まで出来なかったため防災担当職員との連携を深め漏れがないようにしていきたい。

⑤高齢プログラム

高齢利用者を対象に介護予防的なプログラムを試験的に導入した。地域のボランティア団体の方が積極的に協力して下さり、月に1回ではあ

るが開催する事が出来ている。また、理学療法士とも連携をしながら麻痺・拘縮を予防していく運動プログラムを開始した。

9. 今後の課題

①指定管理

平成31年度で2期目の指定管理期間が終了するため、碧南市・保護者会等とも協議しながら次年度以降の碧南ふれあい作業所の在り方について検討していきたい。

②研修・勉強会

事業所単位での研修・勉強会の回数を増やし、職員のスキルアップに繋げていきたい。また、事業所で開催する研修については地区の事業所にも声かけをして多くの職員が参加出来るようにしていきたい。

③修繕・入替

大規模修繕が必要な設備がまだ多いため、碧南市と協議しながら計画的に進めていきたい。現在、ガス漏れ警報器の不具合が生じているためガス漏れ・火災報知器の基盤交換を検討している。

④非常食・防災用品

非常食については3日分の備蓄はあるが、充分とは言えず5日以上分の備蓄ができるようにしていきたい。また、防災用品については碧南市とも協議しブランケット等実際の現場で必要になる可能性の高い物から準備していく。

⑤高齢プログラム

30年度に試験的に導入した高齢プログラムをブラッシュアップさせていき、定着に向けて取り組んでいきたい。利用者に個別で取り組んで頂く運動プログラムなども一部の職員だけが知っているのではなく、全職員に周知した上で本人が自主的に取り組んで頂けるようにしていきたい。

10. 職員研修

職員に幅広い知識と現状の福祉情勢を学びサービスの質を高めるため、愛知県や知的障害者福祉協会が主催する研修に積極的に参加している。また、法人内においても新人研修や法人全体研修を行ったりしている。

平成30年度 実施職員研修

実施月	内容	開催場所	参加職員
5月	法人内新人研修	ダイヤビル・JJひまわり	新規採用職員
7月	東海地区知的障害関係職員協議会	ロワジール豊橋	管理者、生活支援員

7月	てんかん発作研修	大阪商工会議所	生活支援員
8月	栄養士研修会	名古屋文理大学	栄養士
9月	困難事例対応研修	刈谷市産業振興センター	管理者
9月	愛知県知的障害者福祉協会初任者研修	竹島ホテル	生活支援員
10月	施設職員口腔ケア研修	愛知県歯科医師会館	生活支援員
11月	アンダーコントロール研修	サンルートプラザ名古屋	生活支援員
11月	全国知的障害福祉関係職員研究大会	山口市民会館	生活支援員
11月	サービス管理責任者研修	愛知県自治センター	生活支援員
12月	サービス管理責任者研修	愛知県自治センター	主任生活支援員
12月	法人全体研修	衣浦グランドホテル	全職員
12月	高齢知的障害者支援研修	ウイंकあいち	管理者

11. 資格取得

職員の更なる資質向上を図り、利用者の満足度を高めるため事業所に従事する職員（常勤・非常勤共に）が支援に繋がる資格を取得した際、法人が費用を負担している。過去、法人が費用を負担した資格としては「社会福祉士」「介護福祉士」「介護職員初任者研修（旧ヘルパー）」「調理師」「バス運転免許」などが挙げられる。

平成30年度 資格取得一覧

取得資格	人数
介護職員初任者研修	2名

碧南ふれあい作業所 30年度計画表

年度		平成30年度											
項目	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運営	指定管理	碧南市へ事業計画の提出	決算	碧南市へ決算報告(上旬)	指定管理審査委員会資料準備	指定管理審査委員会							
職員スキルアップ	研修・勉強会	新人研修の実施		勉強会の実施			勉強会の実施			法人全体研修勉強会の実施			
施設整備	修繕・入替	自主乾燥機板修繕	冷蔵庫 入替	バスカーテン修繕			来年度修繕計画 →碧南市へ			来年度修繕計画 →碧南市へ			
災害対策	非常食・防災用品				防災用品在庫確認	碧南市と協議(購入割合等)	防災用品購入			非常食在庫確認	非常食入れ替え購入		
利用者	高齢プログラム					プログラム内容の検討(対象者)	プログラム内容の検討(内容)	プログラム提供(試験的)	プログラムの検証	プログラム提供(試験的)	プログラムの検証		

平成30年度 碧南ふれあい作業所 決算について

収入の部

科目	30年度補正予算額	収入済額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	115,400,000	114,185,423	1,214,577	
（自立支援給付費）	106,900,000	105,582,923	1,317,077	
（利用者給食費）	3,900,000	3,890,900	9,100	1食あたり250円
（その他の事業）	4,600,000	4,711,600	-111,600	1食あたり300円
職員給食費、研修受入費等	1,500,000	1,629,136	-129,136	指定管理料(¥350,000)、日中一時支援等
その他の事業	6,200,000	6,748,002	-548,002	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	13,459	-3,459	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	1,000,000	0	1,000,000	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	124,110,000	122,576,020	1,533,980	

支出の部

科目	30年度補正予算額	支出済額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	95,630,000	93,827,756	1,802,244	
（常勤職員給与）	54,880,000	53,746,528	1,133,472	
（非常勤職員給与）	27,300,000	27,209,150	90,850	
（法定福利費）	11,800,000	11,387,528	412,472	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,650,000	1,484,550	165,450	
事務費支出	10,920,000	9,569,603	1,350,397	
（福利厚生費）	450,000	309,348	140,652	
（事務消耗品費）	1,200,000	908,401	291,599	
（修繕費）	750,000	513,210	236,790	車輛修繕等
（業務委託費）	3,510,000	3,488,803	21,197	アルゴ委託費等
（保険料）	1,100,000	843,070	256,930	
（賃借料）	700,000	654,418	45,582	ワゴン車、食洗機等リース代等
（租税公課）	160,000	127,700	32,300	消費税
（保守料）	1,420,000	1,413,516	6,484	エレベーター、消防・電気点検等
（雑支出・その他）	1,630,000	1,311,137	318,863	旅費、冠婚葬祭、非常食代等
事業費支出	22,835,000	21,925,668	909,332	
（給食費）	5,510,000	5,508,308	1,692	給食材料費
（本人支給金）	6,180,000	5,899,250	280,750	利用者工賃
（水道光熱費）	4,780,000	4,750,965	29,035	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	200,000	127,303	72,697	
（教育指導費）	1,730,000	1,678,488	51,512	花苗・自主製品材料代等
（車輛費）	2,535,000	2,372,932	162,068	
（教養娯楽費）	220,000	165,208	54,792	行事準備代、新聞代等
（雑支出・その他）	1,680,000	1,423,214	256,786	利用者検診代、日用品代等
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	0	0	0	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	0	0	0	
（車輛運搬具取得）	0	0	0	
（器具及び備品取得）	0	0	0	
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	本部繰入金
雑損失	166,000	165,898	102	電力会社変更違約金
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
支出合計	130,551,000	125,488,925	5,062,075	
収支差額	-6,441,000	-2,912,905	-3,528,095	繰越金

前期末支払資金残高	6,441,000	53,860,765	-47,419,765	
当期末支払資金残高	0	50,947,860	-50,947,860	前期残高+当期繰越金

財 産 目 録
平成 31年 3月 31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						
現金	現金手許有高	—	運転資金として	—	—	465,797
普通預金	三菱東京UFJ銀行静岡南支店他	—	運転資金として	—	—	501,754,095
			小計			502,219,892
事業未収金		—	3月分介護報酬他	—	—	193,871,363
未収金		—	3月分労働保険料他	—	—	989,709
未収補助金		—	30年度共同生活援助事業費補助会除他	—	—	9,929,379
前払金		—	車輻リサイクル預託金	—	—	398,780
前払費用		—	施設火災保険料前払他	—	—	160,540
仮払金		—	駐車場料金回収機約金	—	—	563,400
徴収不能引当金		—	交通事故和解金に対する引当	—	—	△ 200,000
	流動資産合計					707,933,063
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	(メビウス拠点) 半田市権ノ木町1丁目8番地1	—	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	—	—	22,365,000
	(メビウス拠点) 半田市権ノ木町1丁目8番地1	—	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	—	—	13,800,000
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町1丁目213番地1他	—	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	—	—	38,081,105
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町一丁目32番1他	—	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	—	—	42,000,000
	(JJヒマワリ拠点) 半田市吉田町4丁目175番他	—	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	—	—	23,751,270
			小計			139,997,375
建物	(メビウス拠点) 半田市権ノ木町一丁目8番地1	1998年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	187,817,700	70,431,625	117,386,075
	(メビウス拠点) 半田市権ノ木町一丁目8番地2	2012年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	56,170,800	8,650,313	47,520,587
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町一丁目213番地1	2008年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	68,412,500	34,491,302	33,921,198
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町一丁目213番地4	2010年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	49,117,500	22,102,875	27,014,625
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町一丁目213番地4	2010年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	53,166,500	23,924,925	29,241,575
	(すだちの丘拠点) 半田市池田町一丁目32番1他	2017年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	65,356,438	3,142,165	62,214,273
	(JJヒマワリ拠点) 半田市吉田町四丁目175番他	2014年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	258,226,358	31,632,725	226,593,633
	(ふれあい福祉園ガイア拠点) 静岡市中山町一丁目7番地	2004年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	152,846,175	38,395,632	114,450,543
	(ふれあいハウス拠点) 静岡市植出町2丁目18番	2011年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	52,854,500	21,141,800	31,712,700
	(ふれあいの社まんなか拠点) 静岡市若松町三丁目105番	2013年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	128,623,000	19,615,007	109,007,993
			小計			789,063,202
定期預金	半田信用金庫乙川支店	—	本部基本金	—	—	1,000,000
	基本財産合計					940,060,577
(2) その他の固定資産						
建物	(メビウス拠点) 半田市権ノ木町一丁目8番地1	2016年度	第2種社会福祉事業である、生活介護施設等に 使用している	325,080	120,088	204,992
	(やまぼうしの郷拠点) 半田市池田町一丁目213番地1	2016年度	第2種社会福祉事業である、共同生活援助施設 等に使用している	436,212	161,143	275,069
			小計			480,061
構築物	駐車場舗装他	—	施設設備	97,954,149	27,527,680	70,426,469
機械及び装置	昇降機他	—	施設設備	87,732,000	78,314,584	9,417,416

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
車輛運搬具	スズキ 小型乗用車 4台	—	利用者送迎用	1,758,043	1,758,039	4
	スバル 特殊用途車 1台	—	利用者送迎用	1,600,000	1,589,898	1
	ダイハツ 小型貨物車 2台	—	荷物運搬用	1,323,984	1,323,982	2
	ダイハツ 小型乗用車 8台	—	利用者送迎用	5,563,955	5,563,947	8
	トヨタ 小型貨物車 4台	—	荷物運搬用	6,455,035	5,985,231	469,804
	トヨタ 小型乗用車 8台	—	利用者送迎用	10,675,027	9,287,708	1,387,318
	トヨタ 特殊用途車 13台	—	利用者送迎用	48,986,038	44,314,114	4,671,824
	ホンダ 小型乗用車 3台	—	利用者送迎用	6,078,110	6,078,107	3
	日産 小型貨物車 3台	—	利用者送迎用	3,415,170	3,415,167	3
	日産 小型乗用車 9台	—	利用者送迎用	6,870,860	6,125,113	745,747
	日産 特殊用途車 5台	—	利用者送迎用	13,513,380	12,118,191	1,395,189
	日産 普通乗用車 1台	—	利用者送迎用	2,254,704	2,254,703	1
小計						8,670,004
器具及び備品	コピー機他	—	施設設備	54,344,785	32,349,750	21,995,035
権利		—	水道施設利用権他	—	—	546,579
退職給付引当資産		—	社会福祉事業共済会の退職共済積高	—	—	43,910,575
積立資産						
人件費積立資産	三菱東京UFJ銀行磐南支店	—	将来における人材教育等の目的のために積立 ている定期預金	—	—	20,000,000
その他の積立資産	三菱東京UFJ銀行磐南支店他	—	将来における設備投資、修繕等の目的のために 積立している定期預金	—	—	277,525,074
差入保証金	AWひまわり拠点他	—	施設の賃借に係る敷金	—	—	7,235,500
その他の固定資産合計						460,206,713
固定資産合計						1,400,267,280
資産合計						2,108,200,353
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分職員給与他	—		—	—	94,456,394
1年以内返済予定設備 設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	17,891,000
預り金	駐車場管理業務による駐車料金預り	—		—	—	1,265,910
職員預り金	3月分源泉所得税他	—		—	—	10,103,335
賞与引当金	12~3月分相当賞与見込額	—		—	—	39,136,000
流動負債合計						162,852,639
2 固定負債						
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構	—		—	—	223,742,000
退職給付引当金	社会福祉事業共済会の退職共済積高	—		—	—	43,910,575
固定負債合計						267,652,575
負債合計						430,505,214
差引純資産						1,677,695,139

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実数値の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。
なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてはのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に關する口座番号は任意記載とする。

令和元年度 碧南ふれあい作業所 事業計画書

社会福祉法人ダブルエッチジェー

1 概要

(1) 事業所名	碧南ふれあい作業所
(2) 設置者	碧南市
設置根拠	碧南ふれあい作業所の設置及び管理に関する条例
碧南ふれあい作業所の管理に関する規則
(3) 経営主体	社会福祉法人ダブルエッチジェー
(4) 施設の種別	指定生活介護
(5) 事業の内容	利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の便宜を適切かつ効果的に下記の内容を行う。
① 生活介護計画の作成
② 食事の提供
③ 身体等の介護
④ 生産活動
⑤ 創作的活動及び地域生活支援
⑥ 身体機能及び日常生活動作の機能維持・回復支援
⑦ 生活相談
⑧ 健康管理
⑨ 一定期間利用がなかった場合に当該利用者の居宅を訪問して行う相談援助
⑩ 送迎サービス
(6) 所在地	愛知県碧南市中山町1丁目16番地1
(7) 敷地面積	1,694.7 m ²
(8) 業務時間	8:30～17:30

(9) 施設規模

建物規模

延床面積 1, 244 m² (鉄筋コンクリート造3階建)

施設内容

作業室 (2室)、多目的ホール、食堂、医務室、相談室、更衣室

事務室、会議室、エレベーター、運動場

※消防設備を含む施設管理は業者に委託

ふれあい農園

所在地 愛知県碧南市尾城町1丁目25番地

面積 1, 102.81 m²

2 職員体制

(常：常勤、常兼：常勤兼務、非：非常勤)

管理者	サービス管理責任者	嘱託医	支援員	栄養士兼事務	看護職員	調理員	合計
1名 (常兼1)	2名 (常1・常兼1)	1名 (非1)	21名 (常9、非12)	1名 (常1)	3名 (非3)	1名 (非1)	29名 (常12、非17)

(カウンセラー1名、音楽療法士1名は含まず)

3 利用者処遇

(1) 利用状況 定員60名 (現契約者数67名)

(2) 開所時間 9:00~16:00 (7時間)

(3) 支援会議

ア. 個別支援検討会議を開催

イ. 必要に応じてケース会議を開催

ウ. 毎朝夕、支援ミーティングを実施

エ. 毎週、職員会議を実施

(4) 生活支援

【目的：本人の生活や生き甲斐などに重点を置いたプログラムの再編成を行う】

ア. 排泄、着替えの補助、挨拶等の励行を日常生活の中で支援していく

イ. 隔月の避難訓練の実施、消火訓練を年2回、通報訓練を年1回実施

ウ. 事故防止のため、利用者のバイタルチェック又は家庭での状況を把握

エ. 毎週カウンセリングを実施し、利用者の精神的な安定を図る

オ. 接骨院によるマッサージを実施し、筋力の麻痺・拘縮を予防する

カ. 毎日のプログラムの中に掃除の時間を取り入れ職員・利用者で施設の清掃を行う

キ. 音楽療法を通して、利用者の表現力を養ったりストレスの発散を促す

ク. 高齢プログラムを実施して介護予防に取り組んでいく

(5) 社会的活動の支援

行事予定

時 期	内 容	場 所
4 月	新通所者歓迎式&お花見	あいくる
6 月	交通安全教室	明石公園
7 月	流しそうめん大会	ふれあい作業所
7 月	ふれあいキャンペーン	ふれあい作業所
8 月	元気ッス！へきなん	碧南市役所前
8 月	バーベキュー大会	ふれあい作業所
9 月	合同地震津波避難訓練	ふれあい作業所
10 月	社会見学	未 定
10 月	男性・女性宿泊会	ふれあい福祉園ガイア
11 月	ふれあいまつり	ふれあい作業所
11 月	市民ふれあいフェスティバル	臨海体育館
12 月	クリスマス&忘年会	ふれあい作業所
12 月	きらきらウォーク	芸術文化ホール周辺
12 月	もちつき大会	ふれあい作業所
1 月	新成人を祝う会	あいくる
2 月	創作活動（バレンタインチョコ作り）	ふれあい作業所
3 月	創作活動（ホワイトデーお菓子作り）	ふれあい作業所

定期予定

- ア. リズム体操、車椅子体操を毎月実施
- イ. 創作活動を毎月実施
- ウ. スタッフ（利用者）の意見や要望等を反映させるため、毎月1回全スタッフ職員参加のスタッフ会議の開催

(6) 健康管理

- ア. 嘱託医師による診察（内科検診）及び体重測定を毎月実施
- イ. 定期健康診断を年2回実施、その結果及び嘱託医師の意見に基づき要精密検査者の保護者に受診の支援
- ウ. 昼食後の歯磨き支援、職員による口腔衛生指導を実施

(7) その他

- ア. 保護者に対してガイダンスを実施し、制度改正等の説明会実施
- イ. 各学校、団体からの実習・見学及びボランティア等の受け入れ

4 給食

- (1) ふれあい福祉園ガイア、ふれあい工房アルゴと連携して昼食を提供していく。
- (2) 嗜好調査を実施
- (3) 食事形態の変化に対する対応について、共通した支援が出来るように支援会議を通して周知徹底出来るようにしていく。

5 その他の活動

- (1) 公共交通機関等を利用する機会を作り、小グループ単位にて行動して、社会参加する機会の提供を行う。
- (2) 地域と密接な関係を築き、ボランティア活動・清掃活動等に積極的に参加し、地域に親しまれる事業所として活動していく。
- (3) アルミ缶・スチール缶・牛乳パック等を回収し、リサイクル事業（回収品を回収業者に売却）を展開し環境エコに貢献すると共に本人支給金の増加を目指す。

6 職員研修計画

職員の資質向上を目的とし、各種研修に積極的に参加する。

令和元年度職員研修計画

実施予定月	内 容	開催場所	参加職員
4月・5月	法人内新人研修	法人内各施設	新規採用職員
5月	栄養士研修	衣浦東部保健所	栄養士
7月	全国施設長等会議	神奈川県	管理者
6月	新規採用者研修	名古屋市総合社会福祉会館	新規採用職員
8月	法人全体研修（権利擁護）	未定	全職員
10月	全国知的障害福祉関係職員研究大会	鹿児島県	生活支援員
11月	全国日中活動支援部会研修会	北海道	管理者・生活支援員
12月	法人全体研修（虐待）	衣浦グランドホテル	全職員
1月	法人内研修	法人内各施設	対象職員

※上記以外でも研修案内等を確認して積極的に参加するように取り組む。

7 令和元年度の取り組みについて

・生活介護（定員60名）

碧南ふれあい作業所としての取り組みは、利用者の高齢化に伴い生活介護として再度サービス内容の見直しが必要であると考えます。現在、利用者平均年齢が44歳（67名中）になっており、作業を目的に利用されている方との二極化がすすんでいるため、高齢利用者の方のためのプログラムも必要である。30年度から試験的に導入を行っているものをブラッシュアップして定着させていく。また、高齢・重度化に伴い支援方法の変更や医療行為が必要な方も出てくることが予測されるため、共通支援が行えるように理学療法士とも連携しながら支援マニュアルの整備や事業所としてのガイドラインの作成も行っていく。共生型サービスの導入も検討していきたい。

また、経験年数の浅い職員も増えてきているため職員のスキルアップを図る勉強会の定期的な実施を定着させていく。これにより制度上や障害分野での必要な知識をどの職員も身に付けられるようになる。

災害については、災害時対応マニュアルの見直しを行い机上の計画ではなくより現実的な動きを再検討していきたい。

施設整備の面では、開所当時から使用しているため、老朽化が進み不具合も出てきている厨房の食器消毒保管庫や冷凍庫の入れ替えを行いたいと考えている。また、ガス漏れ報知器に不具合が生じているため市役所と交渉を進めて早急に対応していきたい。その他、備品の修繕や入れ替えなどを計画的にすすめていく。

・日中一時支援（定員70名）

土曜日の余暇支援のプログラム提供は継続して行っていきながら、マンネリ化しないように新しい企画も積極的に取り入れていきたい。参加人数も毎回50～60名程度になり、多人数になっているため事故などが起きないように留意しながら参加者に楽しんでもらいたい。また、ふれあい作業所の利用者ではない外部の利用者の方も増えてきているため、本人の情報を適切にアセスメントして職員間で共有していきたい。

碧南ふれあい作業所 令和元年度計画表

項目	年度	令和元年度												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
運営	指定管理	碧南市へ事業計画の提出	決算	碧南市へ決算報告(上旬)	指定管理者審査委員会資料準備	指定管理者審査委員会(1回目)					指定管理者審査委員会(2回目)			
職員スキルアップ	研修・勉強会	新人研修の実施	勉強会の実施		勉強会の実施		勉強会の実施		勉強会の実施	法人全体研修				
施設整備	修繕・入替	ガス漏れ警報器入替え				食器消毒保管庫・冷凍庫入替え								
災害対策	非常食・防災用品			防災用品在庫確認	防災用品購入					非常食在庫確認	非常食入れ替え購入			
利用者	高齢プログラム	プログラム提供	プログラム提供	プログラム提供・検証	プログラム提供・回数増	プログラム提供・回数増	プログラム提供・検証	プログラム確立			プログラム検証			次年度プログラムの検討➡

令和元年度 碧南ふれあい作業所 予算について

収入の部

科目	令和元年度当初予算額	30年度当初予算額	差額	備考
事業活動による収入				
障害福祉サービス等事業	115,550,000	116,600,000	-1,050,000	
（自立支援給付費）	105,500,000	106,900,000	-1,400,000	
（利用者給食費）	3,850,000	3,850,000	0	1食あたり250円
（職員給食費等）	1,600,000	1,500,000	100,000	1食あたり300円
（その他の事業）	4,600,000	4,350,000	250,000	指定管理料(¥350,000)、日中一時支援等
その他の事業	6,200,000	6,200,000	0	生産活動売上
受取利息配当金	10,000	10,000	0	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金	0	0	0	
設備資金借入金	0	0	0	
その他の活動による収入				
積立資金取崩	6,000,000	1,000,000	5,000,000	
拠点区分間長期借入金	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入	0	0	0	
収入合計	127,760,000	123,810,000	3,950,000	

支出の部

科目	令和元年度当初予算額	30年度当初予算額	差額	備考
事業活動による支出				
人件費支出	92,850,000	87,980,000	4,870,000	
（常勤職員給与）	52,800,000	49,830,000	2,970,000	
（非常勤職員給与）	26,500,000	26,300,000	200,000	
（法定福利費）	12,000,000	10,200,000	1,800,000	社会保険料負担分
（退職共済掛金）	1,550,000	1,650,000	-100,000	
事務費支出	10,715,000	10,920,000	-205,000	
（福利厚生費）	350,000	500,000	-150,000	
（事務消耗品費）	1,150,000	1,300,000	-150,000	
（修繕費）	750,000	750,000	0	車輛修繕等
（業務委託費）	3,600,000	3,700,000	-100,000	アルゴ委託費等
（保険料）	1,400,000	1,100,000	300,000	
（賃借料）	700,000	750,000	-50,000	
（租税公課）	160,000	160,000	0	消費税
（保守料）	1,400,000	1,400,000	0	
（雑支出・その他）	1,205,000	1,260,000	-55,000	
事業費支出	23,195,000	22,835,000	360,000	
（給食費）	5,500,000	5,400,000	100,000	給食材料費
（本人支給金）	6,150,000	6,180,000	-30,000	利用者工賃
（水道光熱費）	4,850,000	4,550,000	300,000	電気・ガス・水道代
（消耗器具備品費）	200,000	350,000	-150,000	
（教育指導費）	1,800,000	2,050,000	-250,000	
（車輛費）	3,000,000	2,135,000	865,000	
（教養娯楽費）	220,000	300,000	-80,000	
（雑支出・その他）	1,475,000	1,870,000	-395,000	
施設整備等による支出				
固定資産取得支出	0	700,000	-700,000	
（構築物取得）	0	0	0	
（機械及び装置取得）	0	0	0	
（車輛運搬具取得）	0	700,000	-700,000	軽車両入替
（建設仮勘定への計上による資金減少額）	0	0	0	
その他の活動による支出				
積立資産支出	0	0	0	
拠点区分間長期貸付金支出	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出	0	1,000,000	-1,000,000	本部繰入金
予備費による支出				
予備費支出	1,000,000	375,000	625,000	
支出合計	127,760,000	123,810,000	3,950,000	
収支差額	0	0	0	